

ふく育県の新たな施策(案)

県内における子育ての満足度を向上させ、福井県こども・子育て応援計画に掲げる、誰もが子育ての「幸せ」と「よろこび」を実感できる社会の実現に向けて、3つの方向性から中長期的に施策を実行

I 実感が広がる「ふく育県」、子育て世帯に選ばれる地域へ

- 県内大学への進学者を対象とした授業料支援を検討
- 様々な家庭に寄り添い、「ふく育県」の子育て環境をさらに手厚く、きめ細かに支援
 - ・放課後児童クラブや託児サービスの拡充、ひとり親家庭や多胎児・障がい児を育てる家庭のサポート強化
 - ・医療や教育と連携したプレコンセプションケアの推進体制強化、産後ケア充実、医療的ケア児の受入れ体制拡充
- 食農教育の視点を取り入れた地場産給食や幼児教育など、子育ての強みをブランド化し県内外の共感を醸成
- 子育て世帯に必要な情報を早く、着実に届けるプッシュ型情報発信の仕組みづくり

II 福祉・医療と教育の連携強化、親子のための多様な選択肢を拡大

- 医療的ケア児の通学支援、放課後等デイサービスの拡大、居住地校交流の推進
- 5歳児健診の全県展開、乳幼児健診を入口とした発達障がいの早期発見と切れ目ない支援体制の構築
- 不登校児の学びの機会確保(学校・市町・支援機関による情報共有の場の設定、アウトリーチ型支援等)
- ヤングケアラーのサポート体制強化(児童の生活を支えるSCやSSWの常態配置等)
- 学校・地域が協働した居場所づくりを応援、外国にルーツを持つ親子を福祉と教育の両面からサポート
- AI等も活用した「迷子にならないための地図」により、家庭ニーズに応じたサポート情報を提供

III こどもまんなかの環境づくり、ふく育県わくわく子育てパーク化

- エンゼルランドやこども家族館の魅力向上、県の公園等における遊び場機能の拡充
- 市町の公園・遊び場等において、交流人口の拡大につながる整備・改修、インクルーシブ化等を支援
- 学習意欲を高める学校環境の改善、官民共創イベント等を通じたこどもの体験づくり